

NEWS RELEASE

**株式会社アキュラホーム 住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業に採択
つくり手・すまい手・近隣が一体となった「普及型省 CO₂ 住宅」で**

株式会社アキュラホームは、国土交通省が実施する平成 21 年度第 2 回「住宅・建築物省 CO₂ 推進モデル事業」新築戸建住宅提案部門に応募した「つくり手・すまい手・近隣が一体となった地域工務店型ライフサイクル省 CO₂ 木造住宅」が採択されました。

アキュラホームでは、“日本の住まいを安くする”というミッションのもと、1000 万円台という求めやすい価格帯での次世代省エネルギー住宅や太陽光発電搭載オール電化住宅を 2003 年に開発し販売しました。2004 年には経済産業省の次世代省エネ住宅普及促進事業研究会に招聘され、その研究成果を受け、可変性を備えた次世代省エネルギー住宅「はるの Si」を販売。2007 年には自由設計で、長期優良住宅の認定基準を高水準でクリアした住宅をいち早く開発・販売し、これまで実践を積み重ねてまいりました。またアキュラホームは全国 500 社の工務店をネットワークした“ジャープネット”を主宰していることから、選考段階においては、求めやすい価格であることに加えてジャープネットを通じて全国への普及が期待され、この度の採択に至りました。

「つくり手・すまい手・近隣が一体となった地域工務店型ライフサイクル省 CO₂ 木造住宅」

アキュラホームの提案は「普及型省 CO₂ 住宅を世に広めたい」という思いから、下記 3 点をコンセプトに掲げています。

住宅のライフサイクルにおける省 CO₂ 対策

建設・居住・解体といった各段階で CASBEE () ライフサイクル CO₂ 評価の試算によると CO₂ が 41% 削減となります。試算対象に入っていない製造・流通段階の取り組みを含めると 41% + の削減効果となります。

つくり手・すまい手・近隣が一体となった省 CO₂ 対策

つくり手においては、資材配送を自社物流センターの計画配送により搬入回数を削減。また地域産材活用による地産地消の実現やガラス繊維協会によるマイスター認定取得者による断熱工事の実施、近隣住戸への影響を考慮した街区レベルでの省 CO₂ 設計の実施などがあります。すまい手へは、省 CO₂ 的な住まい方を啓発するツール提供とコーチングの実施。近隣の住居者へは、現場見学会を通じた情報発信や勉強会の開催などを行います。

主宰する全国工務店ネットワークへの段階的な普及体制を構築。

まず第 1 ステップとしてアキュラホームによるモデル住宅の建設。第 2 ステップを、主宰する 500 社の工務店ネットワーク“ジャープネット”内にけん引役となるリーディングメンバーを組織し取り組むことによる地域展開とし、以降、工務店ネットワーク“ジャープネット”へ段階的に普及させる体制を構築します。

本提案に対する評価機関の概評

様々な省 CO₂ 技術をバランス良く導入しており、ライフサイクル CO₂ 削減効果も高く、住宅コストもリーズナブルで普及への期待が大きい点を評価した。工務店ネットワークへの段階的普及を意図した第 1 ステップとして提案されており、第 2 ステップ以降の全国展開に期待する。

「CASBEE」(建築物総合環境性能評価システム)は、建築物の環境性能で評価し格付けする手法である。省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上といった側面も含めた、建築物の環境性能を総合的に評価するシステムである。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越

Email : horikosi@aqura.co.jp TEL : 090-7843-6574 FAX : 03-5909-5560

住所 : 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F

ホームページ : <http://www.aqura.co.jp>

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」

をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、高品質でありながら坪 30 万円以下で建築可能な注文住宅を提供している。



また、創業以来 30 年にわたり、日本の住宅価格の適正化に努め、「住宅建設コスト低減コンペ」における建設大臣表



彰。さらに東京都が進める東村山市本町地区プロジェクト「価格引き下げ実証実験」では圧倒的な低価格提案をもってプロジェクト事業者 4 社の内 1 社に選定され、全 7 期申込み倍率 1 位を記録した。

た。

日本最大のネットワーク・工務店支援

全国の地域ビルダー・工務店 500 社によるネットワーク「JAHBnet(ジャープネット)」を主宰。そのスケールメリットを活用し、高品質・低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入している。こうした活動は、多方面から注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされた。2005 年には自らの IT 活用に加え、住宅建設業界での IT 活用の普及に貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受章。

暮らしをデザインする

2005 年「匠階段(スケルトン)」、2006 年「ガラスウォール」、2008「オブティス・サステナブル」がグッドデザイン賞を受賞。また、2007 年には「ガラスウォール」が新日本様式に選定される。さらに、自由設計でありながら、一棟一棟の住まいが美しくデザインできる「デザインコード(原則)」を開発するなどアキュラホームはデザイン開発を進めている。



高品質な価値ある家作り

公開実大耐震実験で過去最大級の地震波を連続 3 回再現し、震度 7 クラスの激震を受けたにも関わらず、構造体に異常や損傷なく、極めて高い耐震性能が実証された。



また、住宅性能表示制度、7 項目で最高等級に対応する高品質な家作りを行っている。

ジャープネット(JAHBnet)



ジャープネットは全国 500 社の工務店・ビルダーが加盟する工務店ネットワーク組織。アキュラホームが 94 年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。これまでに 2500 社以上の全国の工務店に導入されると共に、98 年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャープネット)を設立した。安全・安心の住宅「新生代ハウス」を供給している。ジャープネットは全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに 10 年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供。2008 年 3 月にはジャープネット販売累計が 60,000 棟を超えた。

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F
電話	03-6302-5001(代)
創業	1978(昭和 53)年 10 月
資本金	9,314 万円
従業員数	756 名(09 年 4 月 1 日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売 住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	278.33 億円(09 年 2 月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp